

平成 27 年度 ケアハウスサンライフ御立

事業報告書

入居者が身体面や精神面において安心して生活できるよう、ADLの低下抑制を重点項目としてあげ、相談サービスの充実を図った。居室に引きこもりがちになるのを防ぎ、楽しくメリハリのある充実した生活を送れるように行事の企画、相談サービスを行った。又、日常生活の状態の変化等、身元保証人への報告も密にし連携を深めるようにした。

今年度は退去者が続いてでた後、待機者はいるもののすぐの入居には繋がらず、空室5の状態が続いたため、収入減となった。

1. 健康面や精神面の相談サービスの充実

毎月2回実施している健康チェックは、病気の早期発見や早期回復に役立っている。また、健康チェック終了後にコーヒーを提供して、入居者の方々の憩いのひと時になるように配慮した。そこでの会話が日頃の生活状況の把握に役立っている。全体的にADLの低下が目立ち、日常生活においても手助けが必要な方が増えてきたため、身元保証人やケアマネージャーとの連携を密にして、相互理解を深めひとり一人にあったサービスの充実を図った。

※H28. 1. 15 現在

要介護度状況

(単位：人)

	自立	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	合計
5階	6	1	5	2	0	0	0	14
6階	6	3	1	3	3	0	0	16
合計	12	4	6	5	3	0	0	30

性別・年齢状況

(単位：人)

	60～ 69	70～ 74	75～ 79	80～ 84	85～ 89	90～ 94	95～ 99	合計	最高 年齢	最低 年齢	平均年 齢
男性	0	0	3	0	1	2	0	6	91.3歳	75.0歳	83.2歳
女性	2	1	3	4	9	4	1	24	96.6歳	61.6歳	79.1歳
合計	2	1	6	4	10	6	1	30			81.2歳

2. 各種行事への参加支援

2ヶ月毎に『誕生会』を実施した。内容がマンネリ化しない様にゲームやボランティアさんの協力を得ながら行事を行った。ビンゴゲームは、楽しんでいただいている。

季節感を味わえるような外出の企画や外食サービスの機会を増やし、生活の楽しみや入居者同士のコミュニケーションを豊かにできるように配慮した。

メリハリのある生活習慣として、快適な一日の始まりでもあり、脳の活性化を図っていく意味として、午前9時15分と時間を決めてラジオ体操を継続して実施している。また、週に一度いきいき百歳体操も続けている。半年ごとに体力測定を行い、意欲向上に繋げている。

フラワーアレンジメント教室（月1回）は、11年目に入り、生花を生けることによって癒しの効果やコミュニケーションにも役立っていると考えているので、継続できるように支援した。アートフラワーも継続している。

学習療法においては、誰でもが気軽にできるように持ち帰り方法に替えたところ、多くの方が楽しみにされるようになった。

3. 他部署でのボランティア活動の充実

各部署と連携をとりながらボランティアの方が活動しやすいように配慮した。今後、より多くのボランティアの方の参加も募り、利用者の方に楽しんでいただけるように努めていく。

4. 園長との座談会

今年度は、5月にケアハウスにおいて、下痢・嘔吐など感染症の疑いのある症状が発生したため、急きょ園長より入居者の方たちに、感染症についての話があった。

10月には通常の座談会を開催した。新型ノロウイルス・インフルエンザの話や、ケアハウスも高齢化しており、認知症の心配をされている入居者には、施設の方針に従っていただくよう話があった。

平成27年度 収入 (単位：千円)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
H26年度実績	4,388	4,105	4,310	4,180	4,426	4,071	25,480
H27年度予想	4,332	4,121	4,344	4,189	4,550	4,300	25,836
H27年度実績	4,225	3,862	3,968	3,865	4,024	3,878	23,822
前年度との差異	-163	-243	-342	-315	-402	-193	-1,658
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H26年度実績	4,208	4,126	4,478	4,766	4,789	4,610	52,457
H27年度予想	4,401	4,241	4,571	4,371	4,543	4,343	52,306
H27年度実績	4,030	3,897	4,185	3,523	3,819	3,890	47,166
前年度との差異	-178	-229	-293	-1,243	-970	-720	-5,291